

「充填容器流失防止対策」の管理機能を搭載したマッピングシステムと「供給設備点検」の非接触化に対応した内管設計支援システムの紹介

マッピングシステム

近年の水害による容器流失の被害を受け、今年6月に液石法施行規則などが改定され、1層以上の浸水が想定される地域の容器に対する流失防止措置を施すことが新たに施行されました。

そこで、充てん容器流失防止対策の管理機能を搭載したマッピングシステム・PIASGIS-FILER（ピアスジー

アイエスファイラー）ハザード管理システムをご紹介します。

市販の電子地図ソフトを利用して需要家位置を表示、そこへハザード情報を重ね合わせることで浸水想定区域の内外に位置する需要家の見える化を行います。

災害レベルに応じた需要家の抽出にも対応し、1層以上の浸水が想定される対象容器の把握が可能となります。

管理機能の搭載により、対策における進捗管理や事象発生後の被害状況管理、関係機関への報告書作成、流失対策や復旧対策の立案などに活用いただける製品となっております。

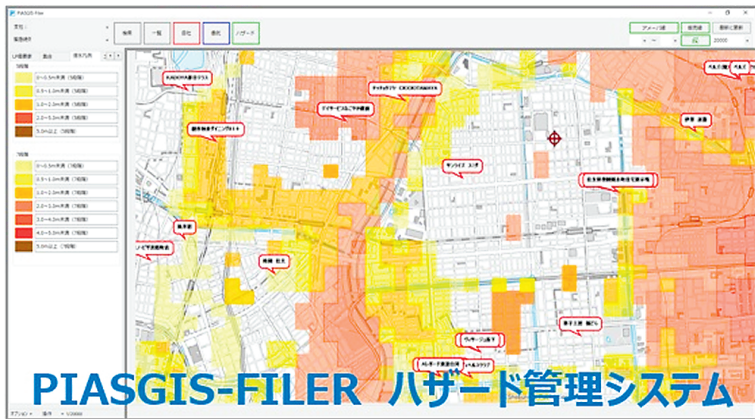
内管設計支援システム

新型コロナウイルス感染症を受け今年2月に液石法施行規則などが改定され、供給設備点検における「保安点検業務の高

度化・効率化・非接触化に対応した措置」等が追加されました。

従来は圧力損失の調査について計測が必要でしたが、代替措置としてマイコンメーター表示、その他データをもとに計算した「値」を使用可能となりました。

今回ご紹介する内管設計支援システム・AutoIsome（オートアイソム）では、計算に必要なデータとして求められる、最大ガス流量、管の内径、配管の長さ、継手類など、計算に使用した根拠を記録に残す等の条件を全てクリアしており、代替措置に対応したシステムとなっております。さらに圧力損失計算で入力した情報からアイソメ図を自動的に描き出す機能や部材数量を集計する機能まで搭載しているため、配管システムの口径解析や見積作成などにも活用いただける製品となっております。



ハザード管理システムの画面

供給設備点検

非接触化

計算値で代用

マイコンメーター表示値などをもとにした計算値により代替可能した。

AutoIsome 圧力損失計算結果

項目	値	単位
圧力損失	12.5	MPa
流量	100	L/min
管径	100	mm
管長	100	m
継手数	10	個



東京技工のホームページにアクセスできる二次元コード